

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ
ロン D.バートン

RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

会報

2013 ▶ 2014
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **集中と調和**

会長／中出敏彦 幹事／大嶋孝広

プログラム

- 本日

「我が生い立ち」	梁川 信 会員	会員誕生日	3月28日	行徳 幸治
「会頭に就任して」	対馬 健一 会員		3月31日	渡邊 裕久
- 次週予定

来賓卓話「留萌観光のとりくみ」		結婚記念日	3月29日	堀 光輝
NPO法人留萌観光協会 事務局長	海東 剛哲 様			

No. 2598
第35回 3月19日
No. 2599
第36回 3月26日

出席報告

前例会

会員総数	41名
出免会員	8名
出免出席	4名
基準会員出席	23名
出席率	72.97%

前々々会

第33回	3月5日
欠席会員	12名
内メイクアップ	5名
修正出席率	91.42%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

会長報告

1. 国際ロータリー 2014年シドニー大会の開催案内が届いております。この機会にぜひ、国際大会に参加してみてもはいかがでしょうか。皆様に回覧いたします。

幹事報告

- 羽幌RCより会報No.1671~1674号及び3月例会案内を受領。
- 妹背牛RCより会報No.28~31号及び3月例会案内を受領。
- 赤平RCより会報No.2579~2581号を受領。

委員会報告

国際奉仕委員会 燕委員長
 来週の例会は、国際奉仕委員会担当の夜間例会となっております。場所は漁師の店富丸です。午後6時30分点鐘で、プログラムはロータリー財団についてです。間違えないようにご出席下さい。

次年度会長 森(俊)会長エレクト
 3月8~9日に札幌市において会長エレクト研修セミナーが開催され、出席して参りました。羽部次期ガバナーよりRI方針、地区目標が掲げられ、「ロータリーに輝きを」の方針に則ってしっかりやって行こうとのお話がありました。その中で1点、RIと地区の方針が合致するテーマがあり、福島の震災復興に尽力する事は

従前通りですが、ポリオの撲滅に向かって全力を尽せとのお言葉がございました。2510地区は今年度9月14日をロータリーディとし、ポリオ撲滅チャリティー募金活動を行うとの指示がありました。これは羽部年度の目玉企画とも言われています。各クラブはこの模様を10日以内に報告書と動画にして、地区の方へ提出することになっております。この動画は纏められて地区大会にて放映されるそうです。

2日目にロータリー財団セミナーがございまして、ここではロータリー財団と米山財団の目標値が発表になりました。ロータリー財団は一人150ドル、米山に関しては1万6000円という目標となっております。ロータリー財団の150ドルについては3年前からだったそうで、一人100ドルと昔から言っていた関係で、だんだんと他地区に離されていき、2510地区は他の日本クラブの地区で下から3～5番目の所にいるそうです。この様なことを言い付かってきましたので、今度の被選理事会にて検討したいと思います。

3分間情報

会員研修委員会 清水副委員長

今年に入って手続要覧が配付されました。今回は、2010年手続要覧との比較をしてみました。

ただし、衛星クラブは除きます。

1. 第4条の綱領が目的に変更。
2. 第5条の五大奉仕部門の5が新世代奉仕から青少年奉仕へ変更。(また戻った)
3. 第9条の出席の中で、地区協議会の部分が地区研修・協議会に。
4. 第9条の出席の中で、新たに他クラブの衛星クラブの例会に出席が加わる。
5. 第9条の出席の中で、出席規定免除欄の健康上の理由で…当初の12ヶ月後にさらに一定期間の欠席を認めることが出来る。
6. 第9条の出席の中で、出席規定免除欄のロータリー歴と会員年齢の合計が85年以上。(65歳以上が削除される)

7. 第9条の出席・第5節、出席の記録の中で、出席規定の免除された会員が欠席した場合、その欠席は出席記録に含まれないものとする。
8. 国際ロータリー細則の中の、ガバナーノミニー選出で、ガバナーノミニー予定者を「ガバナーノミニー・デジグネート」と呼ぶ。
9. 新たではないが、ガバナーの一時的任務遂行不能の場合、臨時ガバナーを選出する。「アクティング・ガバナー」と呼ぶ。
10. 国際ロータリーの定款で、会員第2節に子供の世話又は配偶者の仕事の手伝いのため仕事を中断した人、または同じ理由で仕事をした事がない人が追加になりました。

ニコニコBOX

- 卓話をさせていただきます。 田中会員
- 先週は急に欠席し、ご迷惑をお掛け致しました。ご心配いただき、床の中でロータリーの友情に感謝した1日でした。 高橋会員
- ガバナー月信に写真が載りました。5頁目です。 西谷(英)会員

前回	631,600円
今回	8,000円
累計	639,600円

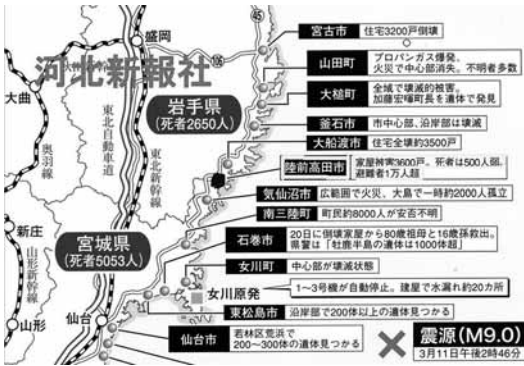
プログラム

「3.11から1097日の今日思うこと」

田中 公一 会員

東日本大震災が発生してから、3年が経過いたしました。ここ1週間の各テレビ局は、震災特集番組で、甚大な被害をあらためて、思い出した事と思います。昨日がちょうど3年目、時がたつと、どんな大きな出来事も忘れがちになります。

1980年留萌ロータリークラブに入会させていただき、香城元会員が隣の席に座った事から、留萌警察署のお手伝いが始まり、3.11の2ヶ月後に、岩手県警の検視業務派遣という事にな



りました。

震災後の時間の経過とともに、ご遺体からの身元判明が困難となり、警察庁から日本歯科医師会に対して警察歯科医の派遣要請がなされ、各都道府県歯科医師会にも、伝達されました。北海道歯科医師会から、私には4月26日に電話があり、ちょうど千望台で食事中でした。

派遣場所は、岩手県陸前高田市から、西へ12 km 山側に入った、開校138年で廃校になったばかりの矢作小学校体育館です。震災から2ヶ月が経過し、岩手県では3個所に遺体安置所が集約されておりました。宿泊先の盛岡市から矢作小学校までは、片道2時間半かけて県警機動隊員の運転するレンタカーで移動する毎日でした。ガソリンもレンタカーも不足している状態でしたが、8人乗りの車に6名が乗車し、器材もありましたが、車内も広く恵まれておりました。3日間ですが、ホテルを午前8時半に出発し、往復5時間なので、留萌～札幌間を通勤したような経験でした。

現地の風景は、テレビで放送されていたのと同じでしたが、被災した街全体が、独特の臭いと、車の中にも入ってくる粉塵は予想外でした。停電中の交差点では、警察官が手信号で交通整理をしておりましたが、マスクとゴーグルは必需品です。現地に入り一番驚いたのは、気仙川の河口から5～6 km上流の農村地帯にも、大きな被害があった事です。宮城県石巻市大川小学校では多くの児童の尊い命が奪われました。学校側の判断に甘さがあったと思います。過去にも大きな被害があったのに、その教訓が生かされず、77名もの児童の犠牲者がでた事は誠に残

念です。その一方で、先人の教えを守り、建物も人的被害もなかった地区があります。それは岩手県宮古市の、姉吉地区です。世帯数12世帯40名の小さな集落ですが、1933年の昭和三陸大津波の後、高台に移り住み、海拔50m地点の石碑に、『ここより下に家を建てな』と彫っており、その教えを守ったため、今回の津波でも被害はありませんでした。

警察庁が昨年3月11日に発表した死者数は、宮城県9536名、岩手県4673名、福島県1606名、行方不明者 宮城県1302名、岩手県1151名、福島県21名。私が派遣された陸前高田市では、まだ217名の方が見つかっておりません。今回の死因は92.5%が溺死です。19年前に起こった阪神淡路大震災の時は、建物の倒壊による圧死が90%でした。震災後、2ヶ月が経過しており、海底からの発見よりも瓦礫除去による土中からのご遺体が多く、津波による骨折のほか、重機による下顎骨骨折も見られました。体育館には、岩手医大歯学部から借りたポータブルのデジタルX線撮影装置があり、すぐにノートパソコンにデータを取り込め、たいへん便利でしたが、X線に対する防護設備が無く、自分への被曝は仕方ありませんでした。

北海道歯科医師会の呼びかけに対し、124名の会員が応募いたしました。その中には小樽RCの熊澤PGもいらっしゃいました。私が8名に選ばれたのは、留萌警察署での水死体の検視にたずさわっていたからだと思いますが、実際の死因は圧死や汚泥を飲み込んだ窒息死でした。

今回の震災では、会員の皆様がそれぞれの立場で、復興に協力されている事と思います。





タイ ノンカイ
ロイヤル・キングス学校
の子供達

100%の子達の親は
おりません。

福島キッズキャンプに参加した、
飯館村の子供達から、
自発的に7,262円の寄付が集まり、
1年間の学用品代になりました。

ロータリークラブ会員の協力で、福島の子供達へ放射線線量計を届けました。また疎開で友人と離ればなれになった飯館村の子供達が、夏・冬と北海道で開催される「福島キッズキャンプ」で、一緒に遊べるなどの奉仕活動を行っております。

また海外に目をむけますと、タイ北部の貧農地帯の子供達に、安全な水を飲んでもらうプロジェクトや、図書館事業なども行っております。特に次年度は、故富山PG年度、コ・ホストクラブであった札幌幌南RCの羽部さんがガバナーに就任いたします。また新しい地区財団委員長には、登別RCの遠藤PGです。2004年清水会長年度の留萌クラブは、タイからのGSEを受け入れました。その時のチームリーダーが、ソンプンさんでもあります。このようなロータリーのご縁で繋がった、次年度の財団寄付につきましては、会員皆様のご理解とご協力を、心からお願いいたします。

災害は忘れた頃にとまわれませんが、今まで大きな地震も津波もなかった留萌地方が、これからも安全という保証はありません。東日本大

震災の3年目を契機に、身の回りの対策を検討してはいかがでしょうか。皆様が1日でも長く、ロータリアンでいてくださることが、奉仕活動にも生かされるわけですから。子供達は親も、生まれてくる国も選べません。先に生まれた者として、このような奉仕活動が出来ることは、私達はとても恵まれていて、幸せなことだと思います。



No. 2598

第35回 3月19日

●本日 移動夜間例会

「ロータリー財団の理解を深めよう」

結婚記念日

3月21日 中川 勝美

3月23日 明澤 正樹

3月23日 高田 潔

📝 会長報告

1. 本日は通常例会ではありますが、夜間例会でございます。仕事を終えてからの例会ですので、大変気楽な例会といえます。プログラムも国際奉仕委員会担当のロータリー財団についてのものです。しっかり財団の事を理解して、楽しい1日としてください。

📋 幹事報告

・砂川RCより会報No.2129～2136号及び4月例会案内を受領しました。

🗨️ ニコニコBOX

・母の葬儀に対し皆様には大変お世話になりました。遠藤会員

前 回	639,600円
-----	----------

今 回	30,000円
-----	---------

累 計	669,600円
-----	----------

📖 プログラム

「ロータリー財団について」

国際奉仕委員会担当

本日は国際奉仕委員会担当例会ということで、昨年の10月には皆様方に多大なご協力をいただきましたこと、この場をお借りしまして、御礼を申し上げます。



そこで、この度のプログラムは「ロータリー

財団の理解を深めよう」という事で、皆さんにDVDを2本ご覧いただきます。

1本目は「毎年あなたも100ドルを」という題材のもの、2本目は「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」というDVDです。2004年、2008年と少し古い内容となっておりますので、現在と合わない部分が多々あるとは思いますが、ご了承ください。

少しここで、年次基金についてお話を致します。

年次基金とは、ロータリー財団の活動を支える最も重要な資金源です。

ロータリー財団へのご寄付は、シェアシステムと呼ばれる仕組みを通じて、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームの活動を支える補助金に生まれ変わります。地区内のクラブから年次基金(シェア)へのご寄付は、ロータリー年度末に、国際財団活動資金(WF)とDDF(地区財団活動資金)に分けられます。

地区は寄付の3年後にこのDDFをクラブや地区、または財団のプロジェクトのために活用できます。DDFの半分までを地区補助金として使用でき、残りをグローバル補助金の申請、ポリオプラスやロータリー平和センター支援、ほかの地区への寄贈のために使うことができます。2012年度、世界における年次基金の目標額は、毎年100ドルを寄付することを目標としておりますが、日本では田中作次RI会長年度に年次基金一人当たりの目標を「150ドル」と掲げました。

それではこれよりご覧いただきますが、どちらも10分前後の内容となっておりますので、引き続き、飲んだり、食べたりしながら、ご鑑賞いただければと思います。

第35回 3月19日(水) 天候/晴

次年度の秋には財団月間、米山月間とございますので、留萌クラブ100%を目指し、皆様にご協力の程お願いしたいと思います。



例会プログラム【4月】

- | | | | |
|----------|---------------------|-----------------|-----------|
| 4月2日(水) | 来賓卓話「留萌観光のとirikumi」 | NPO法人留萌観光協会事務局長 | 海東 剛哲 様 |
| 4月9日(水) | 「我が生い立ち Part 2」 | | 佐藤 潔 会員 |
| 4月16日(水) | 「会員増強委員会」 | | 会員増強委員会担当 |
| 4月23日(水) | 来賓卓話「留萌の港」 | 留萌開発建設部 次長 | 折原 靖夫 様 |